

県 広 報

# とやま

特集/ すこやかに生み育てるために  
～母子保健医療対策の充実～

TOYAMA PREFECTURAL REPORT





# INTERVIEW

ひとアズとやま

## 優勝への執念がチームを一つに

全日本実業団選手権大会優勝

トナミ運輸男子バドミントン部

「決勝進出が第一の目標でした。でも、いざ決勝に臨む頃には、選手たちの頭には優勝の二文字しかなかったようです」と、全日本実業団選手権でみごと日本一に輝いたトナミ運輸男子バドミントン部の今泉勉監督。今泉さん自身、二十一年前、同大会で高岡市役所が優勝したときのメンバーの一人。「選手として勝ったときは、また違った感動がありましたね」。

今年の大会には、各県の予選を勝ち抜いた百四十九チームが参加。「この大会は、N.T.T東京が十五連覇していて、一矢を報いるチームの登場が待ち望まれていたんです」。順調に勝ち進んだトナミ運輸は、準決勝で第二シードの日本ユニシスを三対一で退け、いよいよ牙城、N.T.T東京に挑みます。ダブルスの二試合「今井（彰）・本田組」、「今井（紀）・大山組」は、いずれもフルセットの末敗退。「普通なら諦めムードが漂うところですが、全くそんな雰囲気はありませんでした。それどころか、試合の間にも「優勝するしかない」という声が、選手の間で飛び交っていたんですよ」。その後、第一シングルの万選手が、相手のエース町田選手（全日本チャンピオン）に二セット目、5-14から奇跡の逆転でストレート勝ち。「第二シングルの谷内選手が勝ったときは、もうベンチはお祭騒ぎでしたね」。そして、第三シングルの鈴木選手も見事ストレート勝ちし、N.T.T東京の十六連覇を阻みました。

「特に変わった練習メニューをこなしているわけではありません。ただ、常にゲームのプレッシャーを感じながら練習してきたのが好結果につながったんでしょうね」と分析する今泉さん。今後は、国体や日本リーグなど他の全国大会でも確実に好成績を残していくことが目標となります。全大会制覇を目指し日々練習に励むかたわら、中高生の指導も精力的に行っているというトナミ運輸男子バドミントン部。彼らの活躍が、一流選手を目指す中高生たちに夢を与え、二〇〇〇年とやま国体に向けてのレベルアップにいつそう弾みをつけていくことでしょう。



## 9 CONTENTS

9月号もくじ

とやま遊学感	表紙
朝日県立自然公園	表紙
ひとアズとやま	1
トナミ運輸男子バドミントン部	2
クローズアップ	2
①冒険ごども王国	2
②とやまファン倶楽部会員交流会	2
③とやま笑いの日の集い	2
特集/すこやかに 生み育てるために 母子保健医療対策の充実	4
PINUP TOYAMA	8
写真/松田 勉 (富山県写真家協会会員)	8
詩/池田瑛子 (富山現代詩人会会員)	10
ふるさとみてある記 (魚津市)	10
①新川ムジク・フラウエン	10
②ミラージュ・インフォメーション・センター	10
③カーサ・デ・コモドウ	10
エッセイ/坂田昌弘	12
(株)インテック パルセロナ五輪出場	12
シリーズ/国民文化祭とやま96	13
県からのお知らせ	14
暮らしのアドバイス	16
とやまの祭事記	表紙
とやまの祭り	表紙



▲ 素晴らしい眺めが楽しめる城山山頂



▲ 常緑広葉樹がうっそうと繁る「鹿島樹叢」



## 自然探勝と歴史探訪を同時体験

—朝日県立自然公園—

レポーター: 富山国際大学 林 美華さん  
(表紙の人)

今回、私が訪れたのは、素晴らしい自然の保護と利用を目的に県が指定している自然公園の一つ、朝日町にある朝日県立自然公園です。

このあたりには、暖・温帯系の常緑広葉樹の豊かな森が広がっています。特に、稚児舞で有名な鹿島神社の境内から城山の北側斜面に続く「鹿島樹叢」は学術的にも貴重で、国の天然記念物に指定されています。昔から、雪崩や山崩れを防ぐための保安林として、また鹿島神社の境内林として大切に保護されてきたそうです。神社の拝殿横から遊歩道を登っていくと、シイノキやアカガシ、ウラジロガシなどが自然そのままの姿で残っていて、自然探勝には最適です。

鹿島神社から城山山頂までは「ふるさと歩道」で約一時間のハイキングコース。また、山頂近くまでは、車で行くこともできます。標高二百三十八メートルの城山山頂からの見晴らしは最高。眼下には海岸線が伸び、よく晴れた日には、西に黒部川扇状地、東に日本海にせりだした親不知の断崖、北は遠く能登半島までが見渡せるそうです。また、ここには県内最古の山城とされる宮崎城の城跡や、歌碑、句碑なども点在していて、史跡や文学に興味のある人にもおすすすめ。

このように、豊かな自然と貴重な史跡が一つになった朝日県立自然公園。あなたも、ここで自然探勝と歴史探訪を同時に体験してみませんか。



▲ 宮崎城跡付近



眼下に広がる海岸線 ▶



# ● 8月8日 大きな笑い声が会場を包む

とやま笑いの日の集い



「笑い談義」と題したシンポジウムでは、笑いをテーマにユニークな活動を繰り広げている日本笑い学会会長の井上宏関西大学教授を進行役に、落語家の三遊亭良楽さんやタレントの海原小浜さんらが、笑うことが体に及ぼす効能などを、エピソードを交えながら楽しく談義。また、ナポレオンのコメディーマジックやサムライ日本によるチャンバラコメディ、桂歌丸さんによる講演などもあり、会場を訪れた人々は、笑うことを心の底から楽しんだ様子でした。



「ハッハッハッ」と笑い声のように読める平成八年八月八日、富山県民会館において「とやま笑いの日の集い」が、県民約千二百人が参加して開催されました。まず中沖知事が、「おなかの底から笑うことは、非常に快であり、健康づくりに大いに役立つ。本日、皆さん方には、しあわせ一杯になっていただきたい」と開催を祝した後、「とやま笑いの日」実行委員会の原谷敬吾氏が、「この催しを契機として、改めて笑いの大切さを見直し、家庭・職場・地域で笑いを振りまいてほしい」とあいさつ。続いて、「笑いをテーマにしたメッセージ」の優秀作品八点の表彰が行われました。



## ● 7月29日 富山県の応援

藤子不二雄氏がスピーチ



▲竹村健一氏らも来場

終始和やかに懇談し、交流の輪を広げていました。とやまファン倶楽部は、会員と富山県、そして会員相互の情報交流の機会づくりを推進し、多面的な人的ネットワークの形成と富山情報の発信に寄与することがその目的。今回の発足を機に、富山県を軸とした情報交流がいつそう活発化し、新たな文化や活力の創出につながるものと期待されます。

# ● 7月26日～28日 子どもたちの健やかな成長を願って

児童健全育成ボランティア交流フェスティバル —冒険こども王国—



県を担う子どもたちが、遊びを通してたくましく育つよう願っている」とあいさつ。続いて、関係者や児童らによりくす玉が割られ、いよいよ「冒険こども王国」のスタート。手作りでおもちゃを製作する「伝説の技の世界」、海賊から宝の箱を奪い返す「海賊の海」、音と光の宇宙空間を探検する「宇宙の旅」など八つのステージに、子どもたちは楽しそうにチャレンジしていました。「冒険こども王国」の他にも、昨年募集した遊具・デザインコンテストの入選作品の展示や、遊びに関するシンポジウムなども行われ、来場者は遊びの大切さを改めて認識した様子でした。期間中、炎天下にもかかわらず、園内には元気に駆け回る子どもたちの楽しそうな声が終日こだましていました。

子どもたちが健やかに成長するための「遊び」の重要性の啓発や、児童健全育成ボランティア相互の交流と参加の促進を目的とした「児童健全育成ボランティア交流フェスティバル」冒険こども王国」が七月二十六日から二十八日の三日間、太閤山ランドで開催されました。



## ネットワーク

「とやまファン倶楽部」発足

富山県を愛し、富山県のイメージアップ等に協力している方々が発起人となり、七月二十九日、富山県を応援していただく会員のネットワーク組織「とやまファン倶楽部」が発足。その会員交流会が同日、東京都内のホテルで行われました。初めに、代表世話人の佐藤助九郎佐藤工業会長が「富山をこよなく愛する皆さんで、富山の良さを全国にPRしましょう」と呼びかけた後、中沖知事が「純粋に県を応援する組織はおそらく全国初であり、喜びにたえない」とあいさつ。続いて、木村尚三郎東京大学名誉教授や漫画家の藤子不二雄氏がスピーチを行い、交流会に花を添えました。三百五十名の出席者たちは、



県政の動き	
平成8年7月11日～平成8年8月10日	
7月10日	富山赤十字病院竣工式 '96とやま就職ガイダンスin大阪
7月12日	第13回全国都市緑化とやまフェアメイン会場 オープン 平成8年度全国都市緑化祭
7月26日	冒険こども王国(～28日)
7月29日	新国土軸推進3団体共同シンポジウム とやまファン倶楽部会員交流会
8月1日	富山県立大学「一日県大生(体験入学)」
8月8日	精神障害者社会復帰モデル施設「ゆりの木の里」 竣工式 とやま笑いの日の集い



# すこやかに 生み育てるために

～母子保健医療対策の充実～

近年、出生率の低下や核家族化の進行、女性の社会進出、晩婚化に伴う高齢出産の増加など、子どもや家庭を取り巻く環境は大きく変化しています。

このようななか、二十一世紀を担う子どもたちが心身ともに健やかに生まれ育つためには、母子保健医療体制の整備・充実が極めて重要です。

県では、「すこやかに生み育てるために」をスローガンに、総合的な母子保健医療対策を積極的に推進しています。ここでは、「丈夫な子どもを生むための対策」、「健やかに育てるための対策」、「地域ぐるみの対策」の三つに分け、おのの施策を中心に紹介します。

丈夫な子どもを  
生むために

## 富山県の母子統計

富山県における新生児死亡率（生後二十八日未満の死亡率）は、概ね全国平均を上回って推移しています。一方、死産率は全国を下回って推移しており、平成六年度は全国四

## 健康的な妊娠の支援

十六位と極めて低くなっています（表1）。

ただ、低体重児（出生体重二千五百グラム未満の児）の出生率や、複産率（双子以上の出生率）は、全国と同様に近年増加傾向にあります（表2）。

このようなことから、妊娠期から出産、小児期に至るまでの一貫した高度専門的な医療の提供や保健指導を行うことが、ますます重要性を増しています。

## 母子医療の拠点 母子医療センターの 開設

県内における母子医療の拠点として国の指定を受け、この十月、県立中央病院内に開設されるのが、母子医療センター（仮称）です（初年度全国五か所）。

妊娠期から出産、小児期に至るまでの一貫した高度専門的な医療の提供や保健指導の拠点となるこの施設では、重症妊産婦・新生児対策、不妊対策を総合的に行い、新生児死亡率の低下や障害児の発生予防などを図っていきます。

また、二次医療圏ごとの公的病院

すこやかに  
育てるために

## 疾病予防と 早期発見への 取り組み

子どもをすこやかに育てるためには、乳幼児の疾病障害の発生を予防するとともに、異常を早期に発見し、適切な対処を行うことが最も重要です。

このため県では、乳児に対して先天性代謝異常検査をはじめとした各種検査を行っているほか、医療機関に委託して乳児一般健康診査・精密健康診査等を実施しており、それらはいずれも高い受診率となっています。

また、保健所においては、二千五百グラム未満で出生した低体重児等を対象に、乳幼児発達健康診査を行っているほか、アトピー性皮膚炎に悩む親子を対象とした相談会等、多彩な事業を展開しています。



▲訪問指導マニュアル

市町村で行う以外にも、医療機関に委託して全妊婦を対象に年四回無料で実施しています。

また、一昨年からは新たに早産予防対策事業がスタート。切迫早産のほか、胎児の成長に悪影響を及ぼす五つの疾病（妊娠中毒症、糖尿病、貧血、心疾患、産科出血）の治療を受けた場合、医療費が公費負担となっています。これは、小さな生命を安心して育んでいくための、全国的にもあまり例のない妊産婦医療費助成制度です。

さらに、切迫早産の症状のある妊婦に対しては、主治医と連携してタイムリーできめ細かな訪問指導を行っているほか、保健婦などが訪問指導を効果的に行えるよう、保健指導のポイント等を記載した「訪問指導マニュアル」を作成・配布するなど、早産予防の啓発にも努めています。



との連携を図り、母子医療のネットワーク化に努めます。



表1 死産率

年	死産率（出生千対）	
	全国	富山（全国順位）
平成3	39.7	35.5 (35)
4	38.9	33.6 (40)
5	36.6	31.6 (39)
6	33.5	27.9 (43)
7	32.1	24.8 (46)

表2 低体重児出生率・複産率

年	低体重児出生率（出生百対）		複産率（出生百対）	
	全国	富山	全国	富山
平成3	6.7	5.4	1.42	1.01
4	6.8	6.2	1.50	1.69
5	7.0	6.3	1.57	1.35
6	7.3	6.8	1.68	1.77



インタビュー

富山県は  
母子医療先進県

～母子医療センターを10月に開設～



富山県立中央病院院長  
舘野政也さん

●富山県における  
母子医療の水準は？

富山県の新生児死亡率は、全国より高い状況にあります。これは生まれた赤ちゃんをより長く生かそうと努力した結果ともいえ、この数字だけで母子医療の水準を判断するのは誤りです。事実、死亡率の低さは全国で二番目、周産期死亡率も低く推移しています。母子医療については、むしろ富山県は先進県であるといえます。

●新生児死亡を減らすための  
対策は？

新生児死亡の確率が高いのは、早産によるケースです。中央病院の調査によれば、早産の兆候があつて治療しなかつた人と入院治療した人とは、在胎週数で約七週、胎児の体重で約七百分の一の差がでます。また、治療を受けた場

●十月一日にオープンする  
母子医療センター(仮称)  
とは？

県立中央病院内に設置する、高度で専門的な医療を施す母子医療の拠点です。母子医療センター内には、NICUを十八床(従前は八床)設置するほか、母体を保護するためのPICU(周産期集中治療管理室)も九床設け、他の周産期医療機関で対応できない新生児や重症妊産婦の集中管理治療を行います。また、そのための専門医や看護婦を増員し、治療・看護体制をいっそう充実させます。

生児集中治療管理室)のある病院に搬送することが重要なのです。今まではどちらかといえば新生児搬送に重きが置かれていましたが、これからは母体搬送、つまり生まれてから運ぶのではなく母体ごと運んで、生まれたらすぐに必要な処置を施すことに重点を置くべきでしょう。

●妊婦の皆さんにひと言。

富山県では、妊婦や産婦の健康診査や切迫早産等にかかる費用などが公費負担となつていきます。医療施設の面でも非常に進んでいるといえます。

妊婦の皆さんには、気になる症状があらわれれば、迷わず早急に病院で診察を受けてほしいです。ね。元氣な赤ちゃんを安心して生んでもらうために、私たちもできる限りのお手伝いをいたします。



▲不妊に関するカウンセリング業務



▼保健婦による訪問指導



入院医療費助成制度  
の創設

県では、市町村とともに、従来から乳児の入・通院医療費を助成してきましたが、乳幼児の入院は重症の疾病が多く、家族の肉体的、精神的そして経済的負担も大きいのが実情です。このため、昨年からは未就学児

さらに、新生児期については主に助産婦による訪問指導を、また、適切な養育指導を要する低体重児については、医療機関と連携をとり、保健婦による家庭訪問指導を行っています。

すこやかに生み育てるためには、家族や職場の理解はもちろん、地域ぐるみの協力が必要です。

このため県では、各市町村で実施している母子保健推進員活動を支援しています。母子保健推進員とは、地域の助産婦、保健婦、看護婦または母子保健に熱意のある人の中から市町村長が依頼した人たちが、地域の妊産婦や乳幼児の家庭と密接な連絡をとり、母子保健の向上に努めています。



▲母子保健リーダー育成研修会

地域組織の育成強化

地域ぐるみの  
母と子の対策

(小学校入学前の児童)の入院医療費助成を行い、保護者の負担軽減を図っています。

啓発活動の推進

母性の健康増進と次代を担う子どもたちの健全な育成を図るためには、広く一般に母子保健に関する普及啓発を行うことが不可欠です。県では、母子健康手帳や妊産婦保健指導用の各種リーフレット、母子保健推進員の手引きなどを配布し、普及啓発に努めているほか、母子保健指導者を対象とした各種講習会・研修会を開催し、時代に即した新しい知識と技術の習得を推進しています。



▲乳幼児期の保健指導

母子保健指導体系の  
確立

妊娠から乳幼児まで一貫した指導体系を確立するため、母子保健記録票の活用を図っています。これは、各種の健康診査や保健指導、予防接種などを結び付けて効率的に指導を行うもので、現在、ほとんどの市町村で実施されています。



風がふと 色をかえて  
夕ぐれを渡った  
はりつめた心をほどいて  
山ぶどうに  
醸されてゆく夏の憶い出  
遙かをみつめるひとの蹊を  
露がやさしく触れるだろう  
幻の谷間を染めて  
赤とんぼは群れ翔ぶだろうか  
書かれなかった文字を  
秋の空に連ねて

PIN UP  
TOYAMA  
ピンナップとやま

撮影／松田 勉 詩／池田瑛子  
写真プレゼントについては 16 ページ参照

弥陀ヶ原の秋



# 魚津市

◎魚津市の概要 \*\*\*\*\*  
山、川、海と変化に富む自然に恵まれ、「水と緑につつまれたゆとりあるおいのあるまち」づくりに取り組んでいる。  
波の間に幻想的な青紫色に明滅するホテルイカ、はるか水平線上に現れる幻の蜃気楼、縄文末期の原生林が沈降したといわれる埋没林は、魚津三大奇観として有名。空気が清浄で、環境庁の「あおぞらの町」に指定されている。



「新川ムジーク・フラワーエン」は、新川文化ホールを拠点に活動している女性だけの音楽愛好会。単に音楽を鑑賞するだけでなく、自分たちで演奏会の企画も行っている。ドイツ語でムジークは音楽、フラワーエンは女性たちを意味する。現在の会員数は二百十六名。

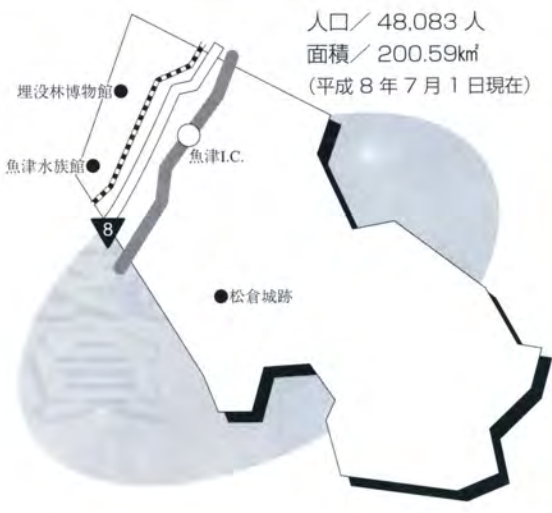
## 洒落た気分では音楽はいかが？

新川ムジーク・フラワーエン足利音楽会  
N響ストリングソロイスト+森島英子



「出演者の交渉からプログラムの作成まで、全て会員の手に任せているんですよ」と、会長の鳴河みどりさん。これまで、N響のソリストやソプラノ歌手の佐藤しのぶさんなど、十団体の演奏会を実現させてきた。「クラシックだけではなく、レストラで夕日を見ながらサクソ演奏を楽しむコンサートなども企画しました。あまりジャンルにはこだわらずに、聴きたいものを気軽に楽しむことが大切だと思いますね」と鳴河さん。なお、演奏者の出演料はすべて会費でまかなっており、より充実したプログラムを組むために、ただいま会員募集中である。

◎魚津市の概要 \*\*\*\*\*



人口 / 48,083人  
面積 / 200.59km<sup>2</sup>  
(平成8年7月1日現在)



▲鳴河みどりさん

## 蜃気楼への熱い思い

(株)MIC (ミラージュ・インフォメーション・センター)



▲河内一雄さん

「初めて蜃気楼を見たときの感動を、一人でも多くの人たちに体験してもらいたいという思いが会社設立につながったんです」と語るのは、(株)MIC代表取締役の河内一雄さん。蜃気楼発生情報などをインターネットで全世界に発信している会社である。

「十年前、蜃気楼発生率や発生場所を予測するシステムの開発を東京の大手民間気象情報会社に相談したところ、データさえあれば可能という返答でした。以後、毎日のように海岸に出かけては水温や風速などあらゆるデータを記録していたという河内さん。そんなある日、過去二十年以上も蜃気楼の出現状況を克明に観測し続けている蜃気楼博士、澤崎寛さんと出会う。「澤崎さんは、ご自分の記録を快く提供して下さいました」。そしてついに「昨年、蜃気楼発生予報システムが完成し、昨年(株)MICの設立となった。現在、インターネットでの情報発信のほか、民放各局に天気予報用の情報を提供しています」。前日における蜃気楼の発生予測的中率は九割を超えている。

みなさんも気軽にアクセスして、自然がおりなす天下の奇観を、一度目のあたりにしてみたいかがだろうか。

ホームページ  
http://www.wni.co.jp/mic/doc/s/shinki.html



▲蜃気楼 (今年は、7月末までに10回出現)

## 束縛のない心地よい空間を

カーサ・デ・コモドウ



▲夢を語りあうメンバーたち

「たまたま三年前、彫刻家何の束縛もなく自由な発想で利用できる家……。そんな建物を造ろうと立ち上がったグループが「カーサ・デ・コモドウ」(イタリア語で「自由の家」)である。

「建設資金は、メンバーの芸術活動の収益などをあてていく予定です。もし自由の家が現実のものとなったなら、僕は、自分でプロデュースした芝居を楽しんでもらいたいですね」と目を細める富田さん。そんな彼の思いも、カーサ・デ・コモドウで育まれる数多くの夢の一つである。



▲富田ゆうじさん



▲高知県の地域情報誌でも大きく紹介





いのちとくらし—とやまマンガ大絵巻

文化の祭典  
**9月28日(土)**  
いよいよ開幕!

## 開幕はオープニングパレードから!

- ★日時 9月28日(土) 13:30~16:00
- ★場所 富山市平和通り 堤町交差点~旅籠町交差点 約1km
- ★出演者 県内外、世界各国から 33団体 約1500名



### 第1グループ プロローグ

テーマカラー〈白〉

○国民文化祭のシンボルである大会旗、文化大使と「とや丸」を先頭に、マーチングバンドの躍動感ある行進と演奏が期待感を盛り上げます。

### 第2グループ 世界の彩り

テーマカラー〈緑〉

○富山県が結んでいる各国の友好都市からゲストが一堂に集います。国際色豊かな民族舞踊や陽気な音楽で、県民との心の交流を深めます。

### 第3グループ 200X年・未来へのメッセージ

テーマカラー〈青〉

○明日を担う子供達が、「未来へのメッセージ」を表現します。  
文化を次世代に伝え、未来へのさらなる創造と発展を感じさせます。  
稚児舞、創作舞踊、マーチングバンド ほか

### 第4グループ ふるさとの心・とやまの心

テーマカラー〈黄〉

○富山県を代表する伝統芸能や全国の民俗芸能が次々と登場し、郷土芸能が今に生きる躍動感、息吹を伝えます。  
越中おわら、麦や節、こきりこ、獅子舞 ほか

### 第5グループ ふるさとの響き

テーマカラー〈赤〉

○全国から、大太鼓、太鼓踊り等が集います。力強く響きわたる和太鼓の鼓動は、パワーと前進をイメージするとともに、人々の心に浸み入り、パレードを印象的に締めくくります。

みんな見に来てね!

※当日は、コース及び周辺道路での交通規制、電車の西町交差点での折り返し運転、バス路線の変更等が予定されていますのでご注意ください。  
また、周辺道路は混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください。  
※雨天時は、規模を縮小して、総曲輪・中央通りアーケード内で実施します。

〈問合せ〉 .....  
第11回国民文化祭富山県実行委員会事務局  
「パレード」係 ☎0764-44-2185



今年も四年に一度の熱い夏が来た。普段スポーツに縁がある人もない人も、オリンピックは理屈抜きで楽しいと思うし、いつ見ても感動的だ。皆「まさかの一瞬」に一喜一憂したことと思う。  
今回、アトランタの女子マラソンでは、エチオピアの年齢も不明な全くといっていいほど知られていない選手が金メダルをとったのははじめ、案外、ノーマークの選手が伸びやかな演技を披露して思わぬ「金」を獲得した。また、日本の期待された競技では、過度のプレッシャーからか、メダルを逸した「まさかの一瞬」もあった。まさに天国と地獄の一瞬だが、ではこの瞬間を左右するものは一体何なのだろうか。  
勝負を決定する最大の要素は「心・技・体」の「バランス」ではないかと私は常々思っている。オリンピック選手ともなれば、そのいずれも高いレベルにあると考えている。体力の向上や、技術の習得については、情報化が進み、コンピュータを駆使し、最も効率のよい科学的トレーニングを各国独自で構築し、選手もひたすらそのメニューをこなす努力が続けられている。そして心についても、

近年メンタルトレーニングという形で様々な研究がすすめられている。しかし、やはりこれが一番難しいのではないだろうか。  
五輪史上初の陸上2000mと4000mで二冠に輝いた米国のマイケル・ジョンソン選手は競技後「ものすごいプレッシャーを感じていた」とコメントしたそうだ。このとてつもないストレスと言いつつ、これも過言ではないプレッシャーをいかにセルフコントロールし、勝つための前向きなエネルギーに転換できるかが、勝負の分かれ目なのだと思う。  
著名な選手のメンタルトレーニングを指導しているジム・レーヤーはその著書「メンタルタフネス」の中で、「高いストレスのとき弱くならない方法三箇条」をこう書き記している。  
1. 回復(リカバリー)の頻度と量を増やす。  
2. ネガティブな刺激を減らすため、ストレスについての考え方を再構成する。  
ストレスは成長を促し、タフになり、自分自身について学ぶよい機会だとみるようにする。状況を脅威というよりもむしろチャレンジとして知覚すると、無駄なエネルギー消費が減少する。

3. 最高のパフォーマンスができるようにするため、心の中で「そうありたい」と願い、その実現に向けて具体的な行動をとる。例えば、自信、勇気、落ち着きを表にだす。  
実際なかなか超えられない力の差は存在すると思うが、オリンピックという大舞台において個人が持っている力を最大限に発揮できれば、選手にとってそれはメダルと同じくらい価値のある「至福の一瞬」なのではないだろうか。



(株) インテック 坂田 昌弘 (バルセロナ五輪出場)

# 勝負とメンタルタフネス



お知らせ

「全国マルチメディア祭'96 in とやま」開催

地域情報化の全国的な推進を図るため、「全国マルチメディア祭'96 in とやま」を開催します。

開催期間 11月7日(木)～10日(日)

内容 地域情報化サミット(11月7日・要申込み)

マルチメディア社会の可能性を先進事例を踏まえながら紹介。

会場 富山市芸術文化ホール

地域情報化フォーラム(11月8日・要申込み)

地域情報化の推進方策についての意見交換

会場 県教育文化会館 高岡文化ホール 新湊市中央文化会館 新川文化ホール 砺波市文化会館

地域情報化フェア(11月7日) マルチメディア機器等により「豊かさを実感できるマルチメディア社会」を体験

会場 テクノホール

※このほか、富山県総合情報センターでは、産業振興の観点からの講演会等を開催。

問合せ・申込み 全国マルチメディア祭'96 in とやま実行委員会事務局

子ども生活博物館 「住まいの歴史発見広場」開催

昭和初期の日本各地の民家のジオラマを使って、当時の人々の生活の様子を再現する「日本の住まいとくらし展」や古いお城の図面を作る「謎の九路川城」、鬼がわら

法人一般会員 入会金50,000円 年会費30,000円

富山県視聴覚自作教材コンクール作品募集

生涯学習や学校教育の場で広く活用できるビデオやスライドなどの視聴覚自作教材を募集します。

募集期間 12月2日(月)～28日(土)

作品時間 20分以内

問合せ 富山県生涯学習カレッジ映像センター

啓発

アイドリング・ストップ運動にご協力を

大気汚染や地球温暖化などの原因の一つである自動車からの排出ガスを抑制するため、アイドリング・ストップ

風のオブジェを作る「家を守る顔」など、魅力ある遊びのプログラムがいっぱいです。

開催期間 9月7日(土)～10月6日(日)

場所 富山県こどもみらい館(県民公園大岡山ランド内)

参加費等 無料(制作コーナーは、材料費200円必要)

問合せ 富山県こどもみらい館

学習活動の発表や学習に役立つ展示などに触れながら楽しく生涯学習を体験し、新しい自分を発見してみませんか。

日時 平成8年10月12日(土)・13日(日)

会場 大沢野町民文化会館・大沢野町生涯学習センター

1・大沢野小学校ほか

主な催し 体験教室(紙すき、木彫り、バステル画など)

ふるさと富山徹底イベント(ゲスト・ケント・ギルバート)

埋蔵文化財センター 普及講座 「はなやとの考古学」

井波歴史民俗資料館学芸員の山森伸正氏を講師に迎え、「砺波平野の古代史」と題した講演会を行います。

日時 9月26日(木) 午後1時30分

場所 埋蔵文化財センター会議室

参加料 無料

申込方法 講座の前日まで電話受付(定員50名になり次第締切り)

運動が展開されています。

アイドリング・ストップとは、運転者が車から離れている間や荷物の積みおろしの間などの不要なアイドリングをひかえることです。

環境にやさしい社会を実現するため、運転者のみなさんのご協力をお願いいたします。

問合せ 県庁環境保全課

9月は障害者雇用促進月間です

国や県では9月を「障害者雇用促進月間」と定め、障害者の職業的自立意欲を喚起するとともに、各種の事業を展開して、広く一般県民や事業主の方々にに対し、障害者雇用の気運の高揚を図っています。

この機会に一人ひとりが障害者雇用について理解と認識を深め、より身近な問題として取り組んでいきましょう。

障害者雇用促進展開催

8月29日～9月3日 アピタ富山店

9月4日～9月9日 北陸ジャスコ高岡店

問合せ 県庁職業安定課

生活福祉資金貸付制度のお知らせ

本制度は低所得世帯の経済的自立や、高齢者、体の不

申込み・問合せ 富山県埋蔵文化財センター

立山博物館開館5周年記念特別展 「立山曼荼羅とその背景」開催

立山信仰の理念を凝集している立山曼荼羅。その成立や構成要素を追求し、その本質に迫ります。

会期 9月21日(土)～10月20日(日)

場所 立山博物館展示館

問合せ 立山博物館

第2回巡回就学相談会のお知らせ

お子さまの心身の発達上の心配事やしつけ、教育、就学などについての相談会を実施します。

相談ご希望の方は、9月20日までに市町村教育委員会へお申し込み下さい。

期日 10月15日(水)・16日(木)

会場 富山県総合教育センター

募集

(財)富山県いきいき長寿財団 「いきいき友の会」会員募集

(財)富山県いきいき長寿財団では、「いきいき友の会」の会員を募集しています。

著名人を招いた講演会へのご招待、園芸や俳句、ダンスなどの講座の開催、旅行会の実施のほか、施設の利用割引カードの発行など、各種サービスを提供し、充実したシルバーライフを応援します。

資格 45歳以上の個人及び、高齢者福祉に関心のある企業・団体

会費 個人会員 年会費3,000円 個人・ペア会員 年会費4,000円

自由な方々等の社会参加および在宅福祉の促進を図り、安定した生活を営んでいただくことを目的としています。

貸付資金の種類は福祉資金、住宅資金など8種類あり、貸付利率は修学資金、療養資金および療養資金の貸付けを受けて療養している期間中の生活に必要な生活資金は無利子で、他は年3%です。

詳しくは、地域の担当民生委員やお住まいの市町村社会福祉協議会または左記までお気軽にご相談ください。

問合せ 富山県社会福祉協議会

消費税率の改定と地方消費税の創設について

平成9年4月から、消費税率が5%となり、うち1%部分は、新設の地方消費税分(道府県税)です。

なお、税率に関する経過措置により、9年4月以後の取引でも、一定の条件を満たせば、現行の消費税率(3%)が適用される場合があります。(例：8年9月30日までに契約され、9年4月1日以後に引渡される住宅等の請負工事)

詳しくは、最寄りの税務署または県庁税務課

平成8年10月街頭献血日程

Table with 3 columns: 日曜日, 献血場所, 時間

※都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等をご確認ください。

◎マリエとやま6階の献血ルームでは、月曜日を除く毎日(年末年始、マリエ休館日を除く)献血を受け付けています。

◎マリエ献血ルーム(TEL0764-45-4500) 血液センター(TEL0764-51-5555)

みなさんの相談窓口

●県政について 県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)

●物価ダイヤル 物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。

●消費生活については 消費生活センター 富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内

●相談110番 家庭問題・悪質商法・覚せい剤など、どんな相談にも応じます。

●シルバー110番 高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター

●よい子の育児電話相談 子育てに関して心配や悩みはありませんか。どんなことでもお気軽にお電話ください。

●テレビ広報 ●チューリップテレビ 毎週土曜日AM7:00～7:15 「ふるさとトーク」

●ラジオ放送 ●FMとやま「ふれあいホットライン」 県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでお届けします。

●新聞広報 ●北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日 毎月第2、最終土曜日 「県からのお知らせ」



# しやまの祭事記

九月



## 伝統三百余年の奇祭 つくりもんまつり (福岡町)

毎年九月二十三・二十四日の両日、福岡町では「つくりもんまつり」が行われ、農作物を利用して形作られた人物や動物、建物などの素材でユーモラスな「つくりもん」が見る者の目を楽しませてくれる。出展グループは、季節の野菜や果物、草花などの色、形を巧みに利用し、その年の話題など時代性を盛り込んで、独自の趣向を凝らしながら「つくりもん」を仕上げていく。屋根の瓦に多くの蛸貝を使うために、町内で蛸の味噌汁を一週間食べ続けたというエピソードもあり、その意気込みが窺える。

当日は、市街地を中心に約四十点の「つくりもん」がお目見え。毎年コンクールが行われ、昨年優勝したのは、タヌキの表情が印象的な「ぶんぶく茶釜」と、大物作品「鯛負恵比須」。今年はどうな作品が見られるか心待ちにしている人も多いことだろう。

三百余年の伝統をもつといわれるこのまつりだが、その起こりは、昔、お盆から八月いっぱい村々で行われていた「地蔵まつり」であるとされる。村の地蔵を集め、人々は餅や野菜を供えて供養していたが、やがて秋の収穫物を供え、五穀豊穡を感謝するようになり、長い歳月を経るうちに、供物が「つくりもん」と姿を変えていったのだという。

人々は感謝の気持ちを野菜や果物に込め、それらは作品として生まれ変わる。その個性溢れる庶民芸術に、見る人々の顔もおのずとほころんでくる。

# 暮らしの

## アドバイス



### 新・写真システム “APS”とは？

「最近、テレビのコマーシャルでもよく見る写真の新システム“APS”とはどんなものなのでしょうか。

これは、写真の大手五社が共同開発した統一規格「アドバンス・フォト・システム（APS）」に基づいて商品化されたフィルムとカメラのことで、今年の四月から登場しました。カメラにフィルムを装てんしたつもりでも現象してみたら何も写っていないなど、単純なミスを防ぎ、誰でも簡単に美しい写真が撮れることを目指したもので、①フィルムがカートリッジ式のためワンタッチで装てんでき、装てんミスがなくなる、②撮影途中でもフィルムの出し入れが可能で、再び装てんしても次のコマから撮影できる、③外側の表示マークでフィルムの状態（未使用、撮影途中、撮影済、現像済）がわかる、④撮影したコマを一覧できるインデックスプリントが添付されているので、焼き増し注文が簡単にできる、などの特長があります。

ただし、APSには現行のカメラとの互換性がないため、APS仕様のカメラでしかAPSフィルムは使用できません。また、近くにAPSフィルムを現像できる店がない、という状況も起こり得ます。さらに、フィルム価格は現行の製品と変わりませんが、現像・プリント料金は高くなることが予想されます。

以上のような点を理解したうえで、自分の目的に合わせた製品選びをしていくことが必要でしょう。

相談は、県消費生活センター、電話0764(32)9233、高岡支所、電話0766(25)2777

### 編集後記

アトラクタ五輪では、期待されていた種目での日本選手の不振が目立った。「期待」それは時として選手を孤独にする。しかし、他国の選手は期待を力に変えていくようにも思えた。「自分では一人ではない。国民と一緒に闘っているのだ」と…。見事日本一となったトナミ運輸パドミントン部。仲間たちの期待が力に変わった好例ではなからうか。(K)

ある金曜日、暑いので帰りにちよいと一杯の後、JRで帰りに着いた。降りる駅のひとつ手前の駅までは確かに覚えていたのに、気がつくとも窓の外は見知らぬ駅。慌てて降りたが後の祭り。すでに県外だった。駅員もいないさみしい駅で時刻表を見上げると、朝まで列車はない。お金もない。地元タクシーには、遠いからと断られる始末。まだまだ、ちよいと一杯がおいしい季節だが、飲み過ぎにはご用心。(A)

今月の取材は、広報課にきているロシア人研修生、オリガ・ポロフコワさんと一緒に魚津市を訪れた。日本語がまだよくわからない彼女であるが、ムジーク・フラウエンの鴨河さんが楽しげにエピソードを話しているのを見て、雰囲気は理解できたようだ。顔写真を撮る時、ヘアスタイルを気にする様に、「女性はこの国でもみんな同じ」と納得顔だった。(A)

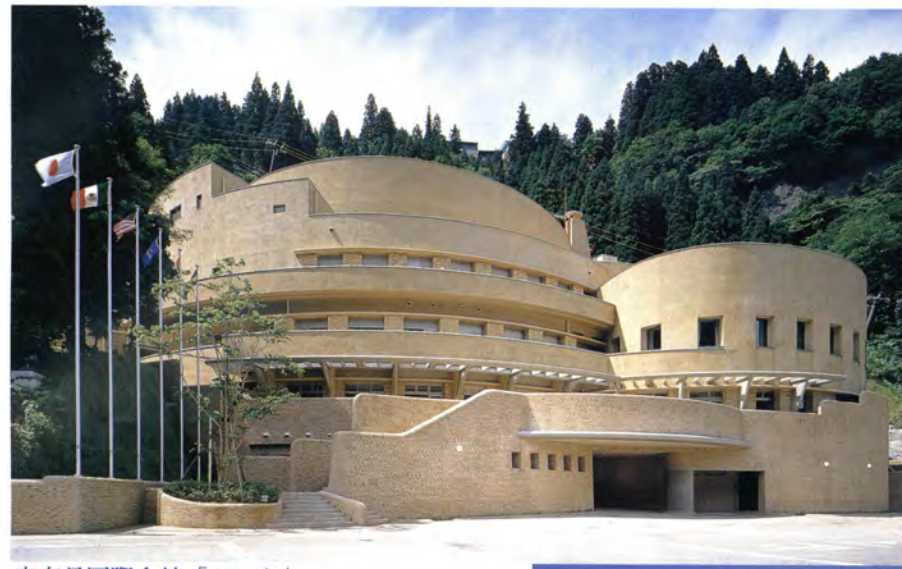
今月号で掲載したPIN UP TOYAMAの写真を選定で5名の方にワイド六ツ切(25×18センチ)でプレゼントします。希望される方は、官製ハガキで下記の様式でお申し込みください。平成8年10月24日消印有効です。

930 80	富山県広報課 写真プレゼント 9月号係あて
氏名	年齢
住所	
電話	
本誌を読んだ感想	



# 『うるおい環境とやま賞』 募集

“うるおい”や“やすらぎ”を感じさせてくれる施設や景観が、近頃あなたのまわりで増えていませんか？ ここに来るとなんだか心がやすらぐ……。そんな『うるおい環境』を募集します。



宇奈月国際会館「セレネ」  
●柔らかなレンガの色彩と曲線に包まれた外観が、黒部の自然と優しく調和



クロスランドおやべ  
●人々が語り合い、感動を分かち合う、次代へのランドマーク



風の城 ●風力発電でライトアップされた姿が幻想的な、“風のまち”大沢野のシンボル



水の小路 ●「水キラキラ町いきいき入善」のキャッチフレーズを象徴する散策路

## 応募対象

- (1) 地域に存在する建築物や施設が、互いに調和し、一体となってまとまりのある美しさを形づくっているような優れた景観
- (2) 周辺の環境と調和し、かつ、その地域の魅力やシンボルとなっているような、身近で親しみのある建造物や施設
- (3) 最近10か年程度の間にも整備されたもの

## 応募方法

市町村役場に備付けの応募票に必要事項を記入のうえ、推薦対象の存在する市町村企画担当課へ（自薦・他薦を問いません。どなたでも応募可）

応募期間 9月2日(月)～9月30日(月)

問合せ 県庁県民生活課文化URUO1係

☎ 0764-44-9616